

和田 真久留 (神奈川/99期)

落車で始まった5月平塚記念で準V、青森全プロ記念は②②着など、最近の高いレベルで成績をまとめている。昨年のこの大会は③①③②②着と好走した実績もあるだけに、今年も活躍が期待される。



PICK UP RACER



村田 雅一 (兵庫/90期)

今年はビッグレースで大ブレイク。全日本選抜、ウィナーズカップと続けて決勝に乗ると、ダービーは予選を②①着で準決にコマを進めた。6月別府記念での伸びも抜群だったし、近畿地区のG1でもあり目が離せない。



阿部 力也 (宮城/100期)

脚力自体がアップしてここのところ素晴らしい伸びを披露している。ダービーでは③②②④着とG1初優勝を果たすと、5月防府は3連勝で今年の初Vを手に入れている。好位置にあるレースは連の対象から外せない。



6月/17日(火)18日(水)19日(木)

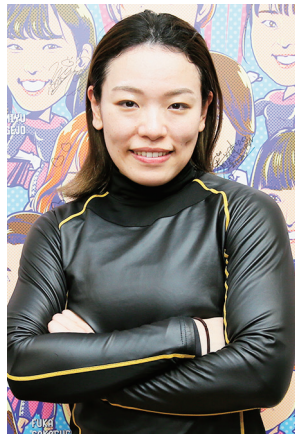
第3回 パールカップ

主力選手プロフィール						
九州 児玉 碧衣	近畿 仲澤 春香	中部 坂口 楓華	近畿 久米 詩	近畿 佐藤 水菜	関東 梅川 風子	関東 太田 りゆ
福岡 30	大阪 24	愛知 27	静岡 25	神奈川 26	東京 34	埼玉 30
108期	126期	112期	116期	114期	112期	112期
L1	L1	L1	L1	L1	L1	L1
57.85	57.57	57.43	56.95	63.33	58.27	56.96
56.18	57.00	56.84	56.60	59.81	57.20	57.81
57.38	57.50	57.25	56.76	60.33	57.85	56.74
BS HS TS	BS HS TS	BS HS TS	BS HS TS	BS HS TS	BS HS TS	BS HS TS
選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値
● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力
● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ
● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚
● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー
● 実戦	● 実戦	● 実戦	● 実戦	● 実戦	● 実戦	● 実戦
● ポテンシャル	● ポテンシャル	● ポテンシャル	● ポテンシャル	● ポテンシャル	● ポテンシャル	● ポテンシャル
69 ● 102	83 ● 83	74 ● 94	70 ● 81	89 ● 97	75 ● 98	69 ● 103
20 ● 1	20 ● 0	21 ● 1	26 ● 1	25 ● 0	21 ● 20	20 ● 27
90 ● 133	3 ● 100	61 ● 105	45 ● 103	39 ● 117	36 ● 94	20 ● 109
戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数
上道対	上道対	上道対	上道対	上道対	上道対	上道対
下1着	下1着	下1着	下1着	下1着	下1着	下1着
出走 36	出走 32	出走 35	出走 36	出走 22	出走 34	出走 36
33 2 0 1	29 3 0 0	30 4 0 1	27 6 1 2	20 2 0 0	31 0 2 1	29 3 1 3
2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1	2月 小松 1 1 1
3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1	3月 小松 1 1 1
4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1	4月 小松 1 1 1
5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1	5月 小松 1 1 1
6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1	6月 小松 1 1 1
1309万	283万	1210万	1019万	1055万	918万	933万
選播	選播	選播	選播	選播	選播	選播

GIRLS KEIRIN



児玉 碧衣



佐藤 水菜



佐藤水菜に強敵が挑む

今年のガールズG1の第2弾。高松宮記念杯と同じく東西別々の勝ち上がりで、双方の強豪は決勝で顔を合わせる。オールガールズを制した佐藤水菜と、打倒佐藤に闘志を燃やすライバルたちの戦いという構図は変わらないだろう。佐藤はジャパントラックカップ1、2のスプリントとケイリンで金メダルを獲得したように近況も変わらず充実している。早めの先行策で後位をモツれさせて押し切ったオールガールズの決勝のように、自分からレースを動かして優位に運ぶ組み立てが理想だろう。元ナショナルの梅川風子、太田りゆに、昨年大会覇者の石井貴子、石井寛子、久米詩、小林莉子らが東の強敵。まとめて蹴散らして弾みを付けて決勝でG1連続Vに挑む。

西はオールガールズで佐藤と好勝負を演じた児玉碧衣が抜けた存在だ。短期間の練習であそこまで戦えたのは天才のなせる業。先まくりで勝った準決は佐藤がショックを受けたほどだった。そして、今回の一番の楽しみは仲澤春香がG1に初登場すること。ジャパントラックカップ2のスプリントで銅メダルとアスリートとして進化は止まらない。勝ち上がって、初対戦の児玉、佐藤に思い切った積極策がどこまで通用するか期待は膨らむ。西では坂口楓華、柳原真緒、山原さくら、尾方真生にも注目。